2018年　秋季号

未来（あす）のために、現在（いま）を変える

鶴翔

Kaku　Shou

つるほ庸介
後援会会報　No.32
〒640-8323
和歌山市太田3丁目7-12　ヤマイチ第一ビル1F
TEL:073-472-3311　FAX:073-472-3334
E-mail:info@tsuruho.com

「議員活動20年」の御礼と決意を

参議院議員　鶴保　庸介

まずもって、先般の大阪府北部地震、北海道胆振東部地震、また台風20号、21号、24号によってお亡くなりになられた方、被災された方々に、心よりお悔やみとお見舞いを申し上げます。

本年7月で私は議員活動20年を迎えました。31歳で初当選して以来、4期連続当選の栄に浴し、その間、様々な要職にも就かせて頂きました。これも常日頃よりご支援を頂いております皆様方のおかげです。改めまして御礼を申し上げます。

また、先日、和歌山市、田辺市の2会場で催して頂きました「20周年を祝う会」には、たくさんの方がご来場下さり、数々の激励の言葉を頂戴致しました。この場を借りて改めて御礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を宜しくお願い申し上げます。

ちょうどこの稿を起こしている本日、第197臨時国会が召集されました。

私は前国会に続いて「参議院資源エネルギーに関する調査会長」職を任されることとなりました。引き続き、その職責を果たしてまいる所存です。

今回の臨時国会では、前述の自然災害からの復旧・復興のための補正予算、来年10月予定の消費増税に対する手立て、外国人労働者受け入れ拡大に向けた入管法の改正、また、憲法審査会における与野党間の憲法議論などが焦点となりそうです。

（2ページへつづく）

プロフィール

鶴保庸介（つるほようすけ）
参議院議員（和歌山県選出、自由民主党）
昭和42年（1967）2月5日大阪府生まれ。東京大学法学部卒
○衆議院議員秘書を経て平成10年7月参議院選挙初当選、平成14年国土交通大臣政務官（2期）、平成18年参議院厚生労働委員長、平成22年参議院決算委員長、平成23年参議院議院運営委員長、平成24年国土交通副大臣、平成26年参議院自民党政審会長、平成28年内閣府特命担当大臣 ○参議院資源エネルギーに関する調査会長、自由民主党政務調査会観光立国調査会事務局長

おもな内容
《鶴保庸介国会活動20周年記念特集号》
●大局を、未来を見据えて政策推進！
●特集・内閣府特命担当大臣等への軌跡
●参院資源エ調査会長と明日の日本を語る

（1ページからつづく）

国際捕鯨委に参加して

さて、少し前の話になりますが、自民党総裁選挙が熱を帯びているさなか、私は9／8～17の日程でＩＷＣ（国際捕鯨委員会）の総会に参加するため、ブラジルのフロリアノポリスという街に行ってまいりました。空港に到着早々、日本の代表団だけが捕鯨反対派のデモ隊に取り囲まれ、現地警察の警備のもとでホテルに向かうという騒々しい幕開けとなりました。

今回の総会は、①生息数が回復している鯨種に限って商業捕鯨を再開すること②重要事項については従来の「4分の3以上」ではなく「過半数」の賛成があれば決定できるように手続きを変えること、の2点を日本からまとめて提案する方針で臨みました。①について、ＩＷＣの本来の目的は鯨類の持続的な「活用」と「保護」を目的として設立されたものである以上、生息数が回復していることが科学的に認められた鯨種については捕ることを認めるべきだというのが我々の主張です。また、②については、手続きを緩和することによって種々の議案が採択されやすくなるため、①と②を抱き合わせで提案することによって、捕鯨反対派からも賛同を得られやすくなるのでは、という戦略でした。

結論から言うと、残念ながら日本の提案は否決されてしまいました。いくら科学的に鯨資源の回復が認められても、捕鯨はすべきではない―今回の結果はそう言っているに等しいと言えます。ＩＷＣは当初の設立目的を忘れ、今や鯨の「保護」だけを目的とした団体になってしまっていると言わざるをえません。反捕鯨国側に言わせると、ホエールウォッチングこそが「活用」だという驚くべき理論です。

ＩＷＣ総会。浜田靖一、江島潔両先生と

また、総会最終日間近というタイミングで、現地の名前をとった「フロリアノポリス宣言」なる提案が反捕鯨国側から出されました。「ＩＷＣならびに捕鯨をめぐる世界の考え方は大きく変わり、これからは鯨類資源の利用ではなく保存のための国際機関になる」という内容です。

日本をはじめとする捕鯨国側は、それならばＩＷＣ条約そのものを改定すべきだと猛反発。そもそも、決して少なくない数の国々が反対意見を出しているのに、なぜ世界の捕鯨をめぐる考え方は変わった、と断じることができるのか。全く理解できません。しかし、残念ながらこの提案も過半数を取られ、結果的に採択ということになってしまいました。この宣言に法的拘束力はありませんが、先に述べた通り、ＩＷＣは設立の趣旨から大きく逸脱し、その存在意義を失ってしまったと言わざるをえません。

今回は珍しく（？）、日本から大胆な提案をしましたが、それも否決され、これ以上もう手立てがありません。かくなる上は……です。私たちはこの組織にとどまる必要性を根本から考え直すべき時が来ているのでは、と痛感したところです。現在、党内で今後とるべき方策を議論しております。推移にご注目頂ければと思います。

鶴保議員の活動日誌

三月

1日　地元挨拶回り
2日　地元挨拶回り
3日　地元挨拶回り
4日　地元挨拶回り
5日　会館事務所にて面談・レク
6日　住宅土地・都市政策調査会 中古住宅市場活性化委員会
7日　会館事務所にて面談・レク
8日　本会議
9日　地元挨拶回り
10日　地元挨拶回り・お悔やみ
11日　会館事務所にて面談、ハンドボール議連
12日　ニハット・ゼイベクチ トルコ経済大臣との面談
13日　全日本不動産政策推進議連幹部会議、会館にて面談・レク
14日　会館にて面談・レク
15日　本会議
16日　紀美野町懇親会
17日　地元挨拶回り
18日　地元挨拶回り
19日　地元挨拶回り
20日　地元挨拶回り
21日　厚労委員会
22日　外国人観光客に対する医療ＰＴ、本会議、厚労委員会
23日　地元挨拶回り・お悔やみ
24日　自由民主党第85回定期党大会
25日　近畿ブロック両院議員会
26日　歴史を学び未来を考える本部、厚労委員会、日本遺産認定記念シンポジウム「最初の一滴」紀州湯浅
27日　超党派資源リサイクル推進議連総会、本会議
28日　厚労委員会
29日　観光立国調査会、本会議
30日　地元挨拶回り
31日

四月

1日　地元挨拶回り
2日

淀川水防・大阪府地域防災総合演習
（2013年５月）

和歌山県・県道那智勝浦古座川線ほか視察
（2009年４月）

第11回和歌山の観光を考える百人委員会総会
（2003年９月）

担当大臣として北方領土の元島民の方とパネル見学､懇談
（2017年２月）

地元とともに
人びととともに
あゆんだ20年
鶴保庸介国会活動
20周年特集

（20年間の「国会報告」はｐ6～13に掲載）

中国海南航空の関空乗り入れ記念祝賀会
（2004年９月）

いち早く始めた自動運転バス試験走行を視察
（2017年12月）

参議院体験プログラム
（かつらぎ町立妙寺中学校３年生＝2012年５月）

銚子漁港で大型クラゲ被害を視察
（2006年２月）

五月

1日 ロシア出張
2日 地元挨拶回り
3日 地元挨拶回り
4日 地元挨拶回り
5日 地元挨拶回り
26日 ロシア出張
27日 ロシア出張（日本・ロシアフォーラム）
28日 ロシア出張
29日 ロシア出張
30日 ロシア出張
24日 ロシア勉強会、会館にて面談・レク
25日 本会議、会館にて面談・レク、水産基本政策委員会
21日 地元挨拶回り
22日 地元挨拶回り
23日 志帥会パーティー「強くしなやかに共に生きる」
19日 会館にて面談・レク
20日 水産拡大役員会、県社会人サッカー連盟総会
16日 地元挨拶回り
17日 厚労委員会、会館にて面談・レク
18日 本会議、会館にて面談・レク、資源エネルギー調査会
14日 韓国出張
15日 地元挨拶回り
13日 外国人観光客に対する医療ＰＴ、本会議、会館にて面談・レク、韓国出張（韓日文化・産業交流協会にて講演）
11日 本会議、コンピュータ会計推進議連、資源エネルギー調査会
12日 厚労委員会
8日 沖縄市長選応援
9日 沖縄市長選応援
10日 厚労委員会、資源・エネルギー戦略調査会、会館事務所にて面談・レク
6日 外国人観光客に対する医療ＰＴ、本会議、鶴保庸介君と明日の日本を語る会（スイスホテル南海大阪）
7日 沖縄市長選応援
3日 厚労委員会、会館事務所にて面談・レク、所有者不明土地等に関する特命委員会
4日 本会議、資源エネルギー調査会理事懇、会館にて面談・レク
5日 厚労委員会

国会報告

鶴保庸介
参議院・資源エネルギーに関する調査会長
大局を、未来（あす）を見据えて政策推進！

鶴保庸介議員が、内閣府特命担当大臣を務め上げた後、就任した参議院資源エネルギーに関する調査会の会長。

第196回国会（今年1月開会）ではさまざまな会合・調査を進め、6月8日、調査会長として本会議で「原子力等エネルギー・資源に関する調査の中間報告」を行いました。

その内容は、同調査会の3年間の調査テーマである「新たな時代に向けた我が国の資源エネルギー像」のうちの2年目の「我が国の資源エネルギー戦略」についての調査の結果報告で、エネルギー資源の安定確保や再生可能エネルギーを含む資源エネルギーをめぐる諸問題についての参考人からの意見聴取や政府説明とそれに対する質疑、議論などを整理したものです。

原子力発電についても情報提供の重要性、課題、放射性廃棄物のバックエンド対策、また、海洋資源では海底熱水鉱床の鉱物資源開発やメタンハイドレート開発などを取り上げています。

中間報告を踏まえ、さらに調査、議論を進めると鶴保会長は強調しました（写真＝後方、伊達忠一議長）。

6日　地元挨拶回り
7日　地元挨拶回り
8日　会館にて面談・レク
9日　本会議、会館にて面談・レク、資源エネルギー調査会
10日　日本遺産「鯨とともに生きる」鯨食文化展、海上保安庁「海上保安の日」祝賀会

11日　本会議
12日　第24回和歌浦漁港朝市「おっとっと広場」、県トラック協会青年協議会創立30周年祝賀会
13日　和歌祭、県連大会
14日　会館にて面談・レク
15日　厚労委員会、会館にて面談・レク
16日　本会議、歴史を学び未来を考える本部、観光立国調査会
17日　厚労委員会
18日　本会議
19日　地元挨拶回り
20日　地元挨拶回り
21日　地元挨拶回り
22日　厚労委員会
23日　本会議、物流倉庫振興推進議連、外国人観光客に対する医療PT
24日　厚労委員会、全国治水砂防協会和歌山県支部主催昼食会、会館にて面談・レク、日本建設機械レンタル協会懇親会
25日　本会議
26日　地元挨拶回り
27日　地元挨拶回り
28日　地元挨拶回り
29日　厚労委員会
30日　新潟県知事選応援
31日　H31年度国の施策及び予算に関する和

観光立国推進のために
訪日客の医療費問題等の取組も

鶴保庸介議員が、訪日外国人観光客、インバウンドの増加に大きな役割を果たしたことは誰もが認めるところです。現在も、自民党観光立国調査会の事務局長として、インバウンド年間４０００万人以上を目指しての課題の検討、政策の推進を行っています。

訪日客増加でもたらされるのはプラスだけではありません。マイナス面、課題もあります。それらに取り組んでこそ諸手を挙げて歓迎出来るものになるはずです。鶴保議員はそのような課題にも取り組んでいます。自見はなこ先生が主導して３月に発足した自民党「外国人観光客に対する医療ＰＴ」に加わっての活動です。

旅行保険に加入していない訪日客の滞在中のケガや病気による診療費の未払い問題が多発。その現状と対策について議論を進めるＰＴで、５月23日、座長の萩生田幹事長代行らと首相官邸で菅官房長官に提言書を渡しました。（写真）

提言は、外国人客が入国後も加入できる民間旅行保険の周知徹底、医療通訳の育成・確保などの対策とともに、日本で医療費の未払いを繰り返す恐れのある外国人の入国を拒否するべきとの方策も盛り込んだものです。

病院との金銭トラブルを防ぎ、また、外国人客も医療機関を安心して利用出来るようにすることが、増加する訪日客の受け入れには必須です。

与党議員交流で
ロシア外交後押し

日ロ外交の進捗が注目を集める中、鶴保議員は、二階俊博自民党幹事長が団長の「経済・観光交流ミッション」に参加して、４月26日からロシアを訪問。安倍政権の対ロ外交を後押しする与党議員交流を深めてきました。

ワレンチナ・マトヴィエンコ連邦議会上院議長と会見。二階団長、林幹雄自民党観光立国調査会長らと

今年は「日本におけるロシア年」「ロシアにおける日本年」で、モスクワにおいて開かれた「日本・ロシアフォーラム」に参加する形で政・官・財から２００人を超える人が参加。

二階団長がフォーラムで講演したのをはじめ、「観光、極東」をテーマにしたセッションでは、日本政府観光局などによる広島・茨城・和歌山県などに関する観光セミナー、レセプションなども行われました。

六月

1日　本会議、日本・ベトナム友好議連「チャン・ダイ・クアン ベトナム国家主席 来日歓迎昼食会」
2日　沖縄出張
3日　沖縄出張
4日　沖縄出張（日本キャッシュレス協会にて講話）
5日　厚労委員会、全国住宅産業協会懇親パーティー
6日　本会議、資源エネルギー調査会、水産拡大役員会
7日　厚労委員会、第30回捕鯨の伝統と食文化を守る会、県選出国会議員とＪＡ役員との懇談会
8日　本会議
9日　地元挨拶回り
10日　地元挨拶回り
11日　地元挨拶回り
12日　厚労委員会、大日本猟友会定時総会
13日　本会議、モノレールの普及を応援する議連世話人会、梅振興議連、国営総合農地防災事業協議会 幹事長への要望
14日　厚労委員会、会館にて面談・レク、棚田支援に関するＰＴ
15日　本会議、健康立国推進議連
16日　地元挨拶回り
17日　那智勝浦町国政報告会、中曽根先生・鶴保先生を囲む懇親会
18日　政財界ハンドボール経験者懇親会
19日　厚労委員会、モノレールの普及を応援する歌山県の提案・要望 説明会、厚労委員会、宇宙総合戦略小委員会

鶴保庸介参議院議員――国会活動20周年記念特集

最年少当選から内閣府特命担当大臣まで
20年の軌跡をたどる

鶴保庸介議員は今年、国会議員（参議院議員）在職20周年を迎えました。平成10年（1998年）7月の参議院選挙（和歌山県選挙区）で初当選。当時選挙区では最年少の31歳でした。

以来、連続4期当選。すでにその3年目に入りました。

この間、ご存知のように内閣府特命担当大臣をはじめ多くの要職に就き、さまざまな政策、諸課題に取り組み、大きな成果をあげてきました。

本号では、今後のさらなる活躍、飛躍を期待し、この間のあゆみ、実績を、写真中心に振り返ってみます。

鶴保議員の20年間の「国会報告」です。

1期目　平成10年（1998）～

苦杯の経験の上に国土交通大臣政務官にも

当時最年少当選を果たした鶴保議員ですが、国政への初挑戦は2年前（平成8年）の衆議院議員選挙でした。その時は苦杯をなめましたが、その苦い経験の上に築かれた初当選とその後の20年の政治活動、ともいえます。

当時は、長く続いた55年体制が崩壊した後の「新党時代」で、鶴保議員は自由党公認で出馬して、当選しました。小渕内閣時代で、翌年自自公3党連立政権になりました。

自由党はその後分裂し、鶴保議員は、保守党、保守新党を経て平成15年に自民党に合流します。当時は小泉内閣で、鶴保議員はその前年から国土交通大臣政務官に登用され、国土関係や北海道開発、学園都市の推進などを担当していました。

その手腕が評価され、合流後も、第2次小泉内閣で再び大臣政務官に任命され、運輸交通関係の施策も担当しました。

七月

1日　会館にて面談・レク
2日　会館にて面談・レク
3日　厚労委員会
4日　本会議、住宅対策促進議連
5日　厚労委員会、会館にて面談・レク
6日　本会議
7日　地元挨拶回り
8日　県連第14回政経文化パーティ、井澤弥惣兵衛勉強会、藤山将材君の和歌山県議会議長就任を祝う会
9日　健康立国推進議連、産業・資源循環議連懇談会
10日　厚労委員会、鳥獣議連
11日　組込IoTイノベーション議連、自民党水族館を応援する議連、弁理士制度推進議連
12日　厚労委員会、全日本トラック事業政治連盟懇親パーティ
13日　会館にて面談・レク
14日　地元挨拶回り
15日　地元挨拶回り
16日　地元挨拶回り
17日　地元挨拶回り
18日　本会議
19日　本会議、日本ファームステイ協会交流会
20日　会館にて面談、厚労委員会
21日　会館にて面談
22日　地元挨拶回り・お悔やみ、尾花まさひろ個人演説会
23日　会館にて面談・レク
20日　常任委員長懇談会、会館にて面談・レク、住宅生産団体連合会懇親パーティー
21日　捕鯨インナー会議、会館にて面談・レク
22日　地元挨拶回り
23日　県社会人サッカー連盟アルテリーヴォ試合
24日　地元挨拶回り
25日　地元挨拶回り
26日　厚労委員会、日本建築士事務所協会連合会懇親会
27日　本会議、観光立国調査会
28日　厚労委員会
29日　本会議、会館にて面談・レク
30日　地元挨拶回り・お悔やみ

国土交通大臣政務官に就任、祝賀会（2002年11月）

得意の自転車で選挙戦（1998年７月）

東海道新幹線・品川駅開業、出発式に（JR東海、2003年１月）

保守党時代の新春の集い（2001年１月）

和歌山県の日高港供用式典で国交省を代表して挨拶（2004年４月）

「第１回日ASEAN交通大臣会合」記者会見（ミャンマー、2001年10月）

八月

1日 志帥会夏期研修会（韓国）
2日 志帥会夏期研修会（韓国）
3日 後援会地方会合
4日 地元挨拶回り
5日 地元挨拶回り
6日 地元挨拶回り
7日 捕鯨特委・捕鯨議連合同会議、会館にて面談・レク
8日 地元挨拶回り
9日 地元挨拶回り
10日 地元挨拶回り
11日 地元初盆参り
12日 地元初盆参り
13日 地元初盆参り
14日 地元初盆参り
15日 地元挨拶回り
16日 地元挨拶回り
17日 地元挨拶回り
18日 紀の川市民まつり前夜祭
19日 紀の川市民まつり
20日 会館にて面談・レク
21日 会館にて面談・レク
22日 会館にて面談・レク
23日 水産拡大役員会、会館にて面談・レク
24日 ドローン議連
25日 地元挨拶回り
26日 後援会地方会合
27日 後援会地方会合
28日 後援会地方会合
29日 地元挨拶回り
30日 地元挨拶回り
31日 地元挨拶回り

九月

1日 地元挨拶回り
2日 地元挨拶回り・お悔やみ
3日 沖縄選挙応援
24日 会館にて面談・レク
25日 会館にて面談・レク
26日 会館にて面談・レク
27日 捕鯨議連インナー会議
28日 地元挨拶回り
29日 地元挨拶回り
30日 国交省和歌山県人会
31日 志帥会夏期研修会（韓国）

2期目　平成16年（2004）～

厚生労働委員長として指導力を発揮

再選を果たした鶴保議員は、平成17年に自民党水産部会長に就任。水産業の再生に向けて行動力を発揮して課題に取り組み、参議院では予算委員会理事などを務めた後、平成18年に厚生労働委員会の委員長に就任。年金、医療や雇用、社会福祉などの重要課題に取り組み、さらに社会保険庁改革（解体）関連法案や年金時効の撤廃特例法案などでは、紛糾する委員会を冷静な議事進行で取り仕切り、無事、可決成立させました。

また、平成20年1月の本会議では、当時の福田康夫総理の施政方針演説に対する代表質問も行いました。

さまざまな場面で、その存在感を内外に強くアピールした時期でした。

再選を期して出陣式（2004年６月）

本会議で与党を代表して予算案に賛成討論（2006年３月）

4日　沖縄選挙応援
5日　会館にて面談・レク
6日　鳥獣被害対策特委・鳥獣議連・ジビエ議連合同会議、自動運転タクシー試乗
7日　会館にて面談・レク
8日　ブラジル出張（IWC国際捕鯨委員会総会）
9日　ブラジル出張（IWC総会）
10日　ブラジル出張（IWC総会）
11日　ブラジル出張（IWC総会）
12日　ブラジル出張（IWC総会）
13日　ブラジル出張（IWC総会）
14日　ブラジル出張（IWC総会）
15日　ブラジル出張（IWC総会）
16日　ブラジル出張（IWC総会）
17日　ブラジル出張（IWC総会）
18日　沖縄選挙応援
19日　沖縄選挙応援
20日　自民党総裁選
21日　地元挨拶回り
22日　関空議連、国会活動20周年を祝う会

23日　地元挨拶回り
24日　地元挨拶回り
25日　浅尾慶一郎先生 後援会設立総会
26日　会館にて面談・レク
27日　外国人観光客に対する医療PT、観光立国調査会、会館にて面談・レク
28日　地元挨拶回り
29日　税理士による鶴保庸介後援会定期大会
30日　地元挨拶回り

「日中中堅幹部交流（二階先生提唱）」で訪中（2008年７月）

参議院ODA調査団団長としてアジア諸国を視察。
ダムによる移住者の声を（スマトラ＝右端、2006年８月）

日本車椅子ハンドボール競技大会開会式
（和歌山県立体育館2008年11月）

厚生労働委員長として野党議員が詰め寄る中、冷静に
社保庁改革関連法案などを採決（2007年６月）

3期目　平成22年（2010）～

国土交通副大臣や観光立国推進で手腕発揮

前年、自民党が政権を奪われていた時の選挙でしたが、全国一のスピードで「当確」が出る圧勝で三選（自民党勝利、与党過半数割れ）。

同年10月、参議院決算委員会の委員長に就任。翌年3月11日の委員会の質疑中（TV放映中）、東日本大震災に襲われ、国会も大きく揺れましたが、その時の委員長の冷静な対応は高く評価されました。政府（菅内閣）の狼狽ぶりとは対照的でした。翌年、議院運営委員長。

そして平成24年12月に自民党が政権を奪還して第2次安倍内閣が誕生すると、国土交通副大臣に抜擢されました。党政調会では観光立国調査会において、今日につながるインバウンドの拡大など観光立国の推進に努めました。

平成26年には党の参議院政策審議会長に任命されました。

東日本大震災被災地の宮城県女川町、名取市を地元の愛知治郎参院議員らと視察（2011年4月）

ASEAN議員会議の総会に出席（カンボジア・プノンペン、2011年9月）

地元・和歌山で京奈和自動車道紀北東道路開通記念サイクリングイベント（2012年4月）

KONOIKEグループは、高い品質のサービスを提供し、
世界の人々の幸福と安全で安心な社会の実現に役立つ
プロフェッショナルサービス集団を目指します。

KONOIKE GROUP

鴻池運輸株式会社 Konoike Transport Co.,Ltd.　代表取締役兼社長執行役員 鴻池忠彦

大阪本社　〒541-0044　大阪市中央区伏見町4-3-9　TEL 06-6227-4600（代表）
東京本社　〒104-0061　東京都中央区銀座6-10-1　TEL 03-3575-5751（代表）

■グループ会社
鴻池メディカル株式会社
九州産交運輸株式会社
株式会社Kグランドサービス
日本空輸株式会社
株式会社エコイノベーション
関西陸運株式会社
株式会社Kスカイ
株式会社NKSホールディング
日本空港サービス株式会社
空港ターミナルサービス株式会社
株式会社エヌエービー
株式会社ジェイフレンドリー
コウノイケ・エアポートサービス株式会社
コウノイケ・エキスプレス株式会社
此花運輸株式会社
コウノイケ・シッピング株式会社
佐野運輸株式会社
鳳テック株式会社
前川運輸株式会社
ASRIリサイクリング鹿島株式会社
コウノイケ・コーポレートサービス株式会社
株式会社Kグランドエキスパート
株式会社ニチウン
コウノイケ・スカイサポート株式会社
千代田検査工業株式会社
コウノイケ・ビジネスマネージメント株式会社
エヌピーエス株式会社
コウノイケIT・ソリューションズ株式会社
KONOIKE-PACIFIC CALIFORNIA,INC.
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING(USA),INC.
KONOIKE-GENERAL,INC.
KONOIKE-E STREET,INC.
KONOIKE MEXICO S.A. de C.V.
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING(H.K.)LTD.
鴻池国際貨運(深圳)有限公司
青島遠洋鴻池物流有限公司
鴻池物流(上海)有限公司
鴻池亜細亜物流(江蘇)有限公司
BEL INTERNATIONAL LOGISTICS LTD.
創業國際貨運代理(中國)有限公司
BEL SUPPLY CHAIN SOLUTIONS LTD.
KONOIKE PHILIPPINES CORPORATION
PKI MANUFACTURING & TECHNOLOGY,INC.
PT.KONOIKE TRANSPORT INDONESIA
KONOIKE VINATRANS LOGISTICS CO.,LTD.
ANPHA-AG JOINT STOCK COMPANY
VINAKO FORWARDING CO.,LTD.
BEL INTERNATIONAL LOGISTICS VIETNAM COMPANY LTD.
KONOIKE ASIA(CAMBODIA)CO.,LTD.
KONOIKE TRANSPORT & ENGINEERING(S)PTE LTD.
KONOIKE J.TRANSPORT (THAILAND) CO.,LTD.
KONOIKE ASIA(THAILAND)CO.,LTD.
KONOIKE COOL LOGISTICS(THAILAND)CO.,LTD.
KONOIKE EXPRESS(THAILAND)CO.,LTD.
KONOIKE-SOTUS VENTURE CO.,LTD.
KONOIKE MYANMAR CO.,LTD.
KONOIKE-EURO LOGISTICS(BANGLADESH)LTD.
JOSHI KONOIKE TRANSPORT & INFRASTRUCTURE PVT.LTD.
KONOIKE ASIA(INDIA)PVT.LTD.
CARNA MEDICAL DATABASE PVT.LTD.

IWC対策の議員外交を（カメルーン・ベナン、2014年２月）

国交副大臣として宮城・福島視察（仙台湾南部海岸、2013年２月）

観光立国・訪日2000万人に向けた新年交流会
（東京プリンスホテル　2015年１月）

観光立国推進閣僚会議でWT座長として取りまとめ案を説明
（官邸大会議室、2013年６月）

4期目　平成28年（2016）～

内閣府特命担当大臣に就任 沖縄・北方、ＩＴ政策等を

多くのみなさんに支えられて四選を実現すると、その翌月（８月）、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策、クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策、宇宙政策、情報通信技術（ＩＴ）政策）に任命されました。記念すべき初入閣でした。

さまざまな分野を担当する大臣として１年、まさに東奔西走の日々を送り、それぞれの課題に取り組みました。

そして現在、参議院では資源エネルギーに関する調査会の会長、党では観光立国調査会の事務局長に戻り、これまで取り組んできた諸課題をさらに前進させる取り組みを進めているところです。

初入閣。第３次安倍第２次改造内閣（後ろから２列目の中央、2017年８月）

大臣就任直後、沖縄を訪問して当時の翁長知事と意見交換。
その後も沖縄には何度も足を運ぶ（同年８月）

SLEEP SELECT

(株)スリープセレクトは2018年4月1日よりSealy(シーリー)商品の販売事業を
テンピュール・シーリー・ジャパン有限会社から譲受し、日本における
Sealy(シーリー)ブランドの製造から販売までを再び一貫して手がけています。

Sealy

sealy-jp.com

米国テキサス州シーリータウンで創業以来、約 135 年。60 カ国以上で愛用されています。

ORTHOPEDIC ADVISORY BOARD

シーリー社は業界に先駆けて整形外科医との連携を図り、「ポスチャーテックコイル」の開発を進めています。

おもてなしのプロが選ぶシーリーの寝心地。世界の一流ホテルにも採用されています。

その他、シーリー関連ブランドである米国最高級ベッド、Stearns & Foster (スターンズ＆フォスター) も当社は取り扱っております。

株式会社スリープセレクト

東京都港区北青山2丁目13番5号青山サンクレストビル2F　TEL: 03-5413-6600(大代表)
札幌/仙台/長野/群馬/東京/東海/名古屋/大阪/福岡 その他、全国に営業所、ショールームを展開中

www.sleepselect.co.jp

資源エネルギーに関する調査会（2018年２月）

ドイツのヴァンカ連邦教育研究大臣と会談、自動走行システム開発推進の協力に向けて共同声明に署名（2018年１月）

チャン・ダイ・クアン ベトナム国家主席歓迎昼食会（2018年６月）

内閣府特命担当大臣として記者会見（2017年２月）

国会議員活動20年を迎えて

鶴保庸介後援会連合会 会長　中西　孝紀

鶴保庸介参議院議員が議員活動20周年を迎えるに当たり、後援会連合会を代表いたしまして、ご挨拶を申し上げます。

平素は鶴保庸介後援会活動に物心両面でご協力をいただいておりますこと、まず御礼を申し上げます。おかげさまを持ちまして、本年、彼の国会活動も20周年の節目を迎えることができました。さらに去る9月22日には大阪において、自由民主党衆議院議員二階俊博幹事長はじめ多くのご来賓をお迎えし、日頃お支えいただいております後援会の皆様方の多数のご出席のもと「鶴保庸介君国会議員活動20周年を祝う会」を盛大に開催することができましたこと、併せて厚く御礼を申し上げます。

平成10年7月、第18回参議院議員選挙におきまして当時選挙区史上最年少にて初当選をさせていただきましたが、一見順調に見える彼の道のりにも人に語ることのない無名時代の苦労の末の初当選であり、以来、早いもので20年が経ちました。

平成14年10月には、小泉純一郎内閣時に初めて国土交通大臣政務官に就任することができ、続いて参議院厚生労働委員長、参議院決算委員長、参議院議院運営委員長、国土交通副大臣、参議院自民党政策審議会長等の要職を歴任し、この間、これらの経験を生かして鳥獣被害対策法案の成立、また高速道路の延伸を含む和歌山の経済浮上のための施策、さらには観光立国を目指し、ビザ発給の簡素化・緩和に取り組み、当時不可能とされていた外国人観光客2000万人を遥かに超えるインバウンド達成にも寄与しました。

現在、関西地方に溢れる外国人観光客による経済効果が、地元和歌山にも及んできております。

また、一昨年の、第24回参議院議員選挙におきましては、皆様方のおかげを持ちまして、彼にとりまして初めて30万を超える得票数をいただき、四たび国政の場に送り出していただきました。

そして同8月には、第三次安倍第二次改造内閣におきまして、内閣府特命担当大臣として初入閣を果たすことができました。

参議院議員活動3期18年の経験を生かし、その任を無事終えることができ、現在は参議院資源エネルギーに関する調査会会長として、さらに、特命担当大臣時代に取り組みました政策の充実と実現のために精力的に活動いたしております。

現在51歳、この節目の20年は彼にとりまして、ちょうど議員活動の折り返し地点に差し掛かったところです。

まだまだ国政の場で活躍できる時間は十分ございます。

今後とも和歌山の将来、さらに日本の将来を託すことのできる政治家としてお育て頂きますよう、ご指導ご鞭撻のほどお願いを申し上げます。

国会議員在職20年を祝して

鶴保庸介関西後援会 会長／鴻池運輸株式会社（代表取締役兼社長執行役員）　鴻池　忠彦

このたび鶴保先生におかれましては、国会議員在職20周年の節目を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。また、日頃よりご支援頂いている皆様方に関西後援会を代表して厚く御礼を申し上げます。

鶴保議員は、平成10年7月の第18回参議院選挙において、当時最年少となる31歳で初当選し、以来連続4期当選を果たしてきました。

2016年8月には、第3次安倍内閣において内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策、クールジャパン戦略、知的財産戦略、科学技術政策、宇宙政策、情報通信技術（IT）政策）に就任され、沖縄振興策や今後の日本に欠かすことのできない科学技術・イノベーションの推進に力を注がれました。

その他にも観光政策、運輸業界の諸課題に取り組み大きな成果を挙げてこられました。

一方で、人柄は飾らず明朗闊達、人懐っこい笑顔、話し出したら止まらない快活さは先生の大きな魅力のひとつです。縁あって関西後援会の会長をお引き受け致しましたが、私も時が経てば経つほど、接すれば接するほど、先生の人間力に惹きつけられ、魅了されている一人です。

これまでの日本の20年は、日本の政治・経済にとってまさに激動の時代でありました。しかし、これからの20年は、安全保障、少子高齢化問題に加え、世界の中のNIPPONとして、その役割を果たしていかなければなりません。日本が世界の主張に耳を傾ける一方で同時に日本のあるべき姿を主張していくためには、

後援会も「遠図」の精神で

鶴保庸介東京後援会 会長／株式会社シーリージャパン（代表取締役社長） 西村 秀之

鶴保議員のように「できない理屈は不要」「どうすればできるのか発想」し、ひとつひとつの課題について具体策を持って解決していくことが必要と考えます。

我々関西後援会と致しましては、鶴保先生が日本の発展のためにより一層の活躍できるように全力でサポートして参りたいと考えておりますので、今後とも皆様の変わらぬご支援を宜しくお願い致します。

鶴保先生が1998年に当時最年少で、参議院議員になられてから、20年が経ちました。後援会の皆様には日頃より鶴保先生に多大なるご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

鶴保先生とは違う大学でしたが、大学時代からお付き合いをさせていただいておりました。先生は、幼少期に国際政治学者の若泉敬先生から薫陶を受け、当時すでに日本の政治や経済がどうあるべきかを真剣に考えていらっしゃいました。同世代ながらその姿を尊敬し、刺激をうけました。

私はみずほ銀行において約6年半のシカゴ・ニューヨーク勤務を経て、祖父が創業した家業（シーリーベッド製造）を継ぐため2004年に銀行を退職しました。

転職したばかりの不安なその時期に、鶴保先生と再会しました。先生から「一緒に成長していこう」と激励を受けたことで奮起し、入社後1年で社長になり、グループの再編や資本構成の見直しを行い、創業以来の変革を成し遂げることができました。

2014年に、当社と30年以上契約していた米国マットレスブランドのシーリーが競合先のテンピュールに買収されたことにより、米国からの要請で当社のビジネスの大半を売却せざるを得ない状況に陥りました。その時、鶴保先生から外資系企業の著名経営者をご紹介頂き、お二人から大所高所からのアドバイスをもらい、大変勇気づけられました。そして現在は4年前に売却したビジネスを買い戻し、再度復活を目指そうとしている最中です。これも鶴保先生の励ましと「遠図」の精神を教えていただいたことと感謝いたしております。

先生の後援会の皆さまへの繊細な配慮や政治への純粋な思いに感動を覚え、先生の「遠図」のために少しでも貢献できるよう精進して参ります。

後援会の皆様におかれましては引き続き鶴保先生にご支援を賜りますようお願い申し上げます。鶴翔会の更なる発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。

鶴保先生と沖縄

鶴保庸介沖縄後援会 会長　高良 健

鶴保先生は、沖縄が大好きで、沖縄の事をより理解しようと努力なさっている先生であり、沖縄にとって世界にとって何が必要か、また日本にとって何が必要かを既成概念や風評、あるいは利害にこだわらず、基本に立ち戻って議論が出来る数少ない先生です。

少々率直に表現しすぎて話題となる事もありましたが、論理性を追求するところやその為に出来るだけ多くの地域をまわり、多くの人びとの意見に耳を傾けられる素晴らしい先生です。

さて、先生と議論を重ねていく中で、沖縄に後援会を作ってほしいという御話があり、利権渦巻く沖縄で後援会を作る事に関して、各界の方々から誤解を生む可能性があるなどと注意も多数いただきましたが、先生の様に真剣に客観的かつ斬新に物事に取り組む方に是非沖縄をより理解していただき、未永く今後沖縄びいきの中央の政治家になっていただきたいという多数の方々の意見をとりまとめて、出来るだけ幅広い方々に参加していただき、後援会を2年前に設立いたしました。

多種多様の考え方の方々が混在している沖縄ですが、当会は「政治的信条や経済的つながりに縛られることなく、沖縄の地理的ならびに文化・歴史的特徴を踏まえた包括的な振興を目指す」という理念に基づき、より多くの方の賛同を得て協力していただける組織として、先生を中心として育て上げていきたいと思っております。

先生には更に高みを目指して、この国の指導的立場をより強固なものにし、沖縄を含む各地方を大切にし、この国を世界に冠たる国にしていただきたいと期待しております。

地方から、元気と明るさを全国に！

初心忘れず、経験を活かして邁進すると

「参議院資源エネルギーに関する調査会長 鶴保庸介君と明日の日本を語る会」大阪で

尾﨑太郎和歌山県議会議長の音頭で乾杯（右）
クールジャパン担当大臣の時、海外戦略で意気投合したという大﨑社長の講演。応援にかけつけた西川きよし元参議院議員、市長会を代表して神出政巳海南市長
（左上から）

「参議院資源エネルギーに関する調査会長 鶴保庸介君と明日の日本を語る会」が4月6日、大阪・難波のスイスホテル南海大阪で開かれました。

第一部では、創業者が主人公のNHKの朝ドラ「わろてんか」が3月末まで放映されていた吉本興業の大﨑洋社長による「関西元気でわろてんか！」の講演が行われました。

同社は、大阪、東京だけでなく、全国各地やアジア諸国にも進出し、お笑いから芸術、エンタテインメント分野にまで領域を広げています。

鶴保議員が担当大臣として足繁く通った沖縄でも、世界に向けたエンタテインメント創出拠点づくりとして始めた「沖縄国際映画祭」が10周年を迎え、今年、さらにエンタテインメント専門校（沖縄ラフ&ピース専門学校）を開校したところです。関西から全国、さらに世界に向けた戦略を力強く語っていただきました。

第二部懇親会では、鶴保議員が、内閣府特命担当大臣としての貴重な経験、実績を活かしつつ「みなさんと一緒に幸せを実感できる国づくりをめざし、初心を忘れず、和歌山、関西のために、さらに精力的に邁進します」と今後の活動に向けた決意を語り、大きな拍手を浴びていました。

主催者の関西後援会（鶴翔会）の鴻池忠彦会長は2000人を越える来賓、支持者のみなさんに御礼を述べ、さらなるご支援を、と訴えました。

編集後記

今回は、鶴保議員の「国会活動20周年記念特集号」としました。

Q. 20周年というのは、参議院だけなら4期目でようやく到達できる年数ですね。4期目の20年というのはかなりのベテランになるのでしょうけど、4期目以上は何人くらいいるの？

A. 参議院議員は現在242人、4期以上の人は26人、1割強で、確かにベテランといえますね。

Q. 5期以上の人は？

A. そのうち5期が4人、6期、7期が各1人の計6人。残り20人は4期目の人で、鶴保先生は当然、一番若い。その20人のうち自民党は9人です。

Q. なるほど、若くてもかなりベテランになるのですね。ところで周年といえば、最近（10月23日）、憲政記念館で行われた「明治150年記念式典」のニュースを見たけれど、国会の開設は…。

A. 明治憲法、つまり大日本帝国憲法が発布された翌年1890年に帝国議会が開設されたので再来年、オリンピックの年に議会開設130年を迎えます。なお、いまの議事堂の建物は1936年完成で2年前に80周年。着工は1920年だからちょうど100年前になりますね。（K）

●写真による活動報告も行っています。

ホームページもぜひご覧ください。
http://www.tsuruho.com/

鶴保庸介事務所

〒100-8962　東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館313号

TEL.03(6550)0313　FAX.03(6551)0313
E-mail：info@tsuruho.com